

南会津版作品集の発行にあたって

福島県教育委員会では、子供たちの豊かな心を育成するため、平成十四年度から「十七字のふれあい事業」を実施しており、本年度で二十一年目となりました。

この事業は、家庭や地域における人と人のかかわりの中で感じた思いや願いなどを十七音で表現することを通して、子供の豊かな心を育成するとともに、人と人との「絆」を深め、ひいては家庭や地域の教育力の向上に資するという趣旨で行っているものです。

今年度は、県全体で四二六三五点、南会津からは一三〇一点の応募があり、共通体験を通して温かい心の交流を感じ取ることができるとともに、ふるさとへの思いを感じる作品などが数多く見られました。また、親子に限らず、祖父母と孫、友人同士、生徒と先生といったペアの作品もあり、絆の広がりを感じます。

応募された皆様からは、「毎年の実施に感謝です。コロナ禍で様々な時間が一見止まっているように見えますが、成長している子供たちを振り返ることができる貴重な取り組みです。」(中一・父)

「いよいよ末っ子だけとなった十七字。残りの二年を楽しみな

がら参加したいです。いつも作品集を楽しみにしています。」(中一・母)

「長年親子で苦手な十七字に格闘してきた夏休みも、三女が中三となり今回で最後となりました。苦勞してきた分、寂しい気持ちも…。」(中三・母)

など、本事業への温かい声もいただきました。

さて、南会津教育事務所では、県入賞を含めた第一次選考通過作品の七十二作品と、皆さんに読んでいただきたいスマイル賞七十五作品を掲載した作品集を作成いたしました。

この作品集に掲載された作品から、子供たちの思いや願いそして子供たちを支え見守ってくださっている方々の思いを感じ取っていただければ幸いです。

改めまして、毎年御協力をいただいております各学校及び関係機関並びに作品を応募された皆様方に心より感謝申し上げます。刊行の挨拶といたします。

令和四年十二月

福島県教育庁南会津教育事務所長 武口 隆行